

<2030年のSDGs達成に向けた経営方針と目指す姿>

企業の継続性検討において、SDGsへの取り組みは必須であり弊社社員のみでなく関係各位と協力して地域に必要とされる企業を目指す。

<SDGsに関する重点的な取り組み及び指標>

三側面 (分野に☑)	SDGsに関する重点的な取り組み	指標 (更新時に向けた数値目標)
☒ 環境 ☐ 社会 ☐ 経済	地域産材を中心としたAD材活用による家作りを目指す。消費だけではなく、森林保全を行い、循環型社会を基本とする。	木材使用料に対するAD材使用率を増加。 2023年80%→2026年85%
☐ 環境 ☒ 社会 ☐ 経済	地域に必要とされる企業を目指し、災害時等における地域連携を事前に検討する。地域を巻き込んだ、継続できる社会を大切にする。	地域自主防災組織との連携を強化する為、社員の消防団参加。 2023年度2名→2026年度2名維持
☐ 環境 ☐ 社会 ☒ 経済	環境配慮による無駄の削減を重視し、効率化による経済活動に連動させ弊社だけではなく、地域全体の活性化を目指す。	木材購入に対するロス率削減。 2023年度15%→2026年度10%

<パートナーシップ>

三井住友海上火災保険(株)と連携。情報・アドバイスをいただきながら、継続できる地域経済活動を考慮する。

・「SDGsに関する重点的な取り組み」には環境・社会・経済の三側面の全てについて、重点的な取り組みを記載してください。なお、取り組みが複数の分野に該当する場合は、それぞれの分野にチェックを入れてください。
 ・「指標(更新時に向けた数値目標)」には、それぞれの取り組みに対する「目指す姿」の実現を念頭に、更新時までの数値目標を記載してください。
 ・「パートナーシップ」には、企業やNPO法人、行政など関係機関との連携を記載してください。

<SDGsに関するこれまでの重点的な取り組み及び指標に係る進捗状況>

三側面 (分野に☑)	取り組みの状況	前期の指標	実績
☒ 環境 ☐ 社会 ☐ 経済	AD材活動により環境負担を低減する。2020年度75%	木材使用料に対するAD材使用率を増加させる。森林保全による環境負荷低減数値化を目指す。	2023年80%
☐ 環境 ☒ 社会 ☐ 経済	地域に必要とされる企業を目指し、災害時等における地域連携を事前に検討。(社員採用時に消防団活動の意味を説明)(新入社員確保。団員の維持2名→2名)	地域自主防災組織との連携を強化する。非常時における資材提供契約締結を目指す。	社員4名中2名参加(若手の防災意識向上)団員の維持 2名→2名
☐ 環境 ☐ 社会 ☒ 経済	環境配慮による無駄の削減を目指す。効率化による経済活動に連動させる。倉庫活用による効率化向上(端材の畜産業者提供実地)(2020年度ロス率20%)	木材購入に対するロス率削減を目指す。端材活用を検討し、産廃処理低減を目指す。	ロス率15%

・「取り組みの状況」には、前回登録申請した際の重点的な取り組みの実施状況や指標の達成状況を記載してください。指標が未達成の場合は、その理由等も記載してください。